

3/15 五夜

医療機関への攻撃やめよ



ロシア軍の攻撃を受けた小児科病院にかけつけた救急隊員ら。左、マリウボリ（ロイター）

WHOによれば、ロシア軍による侵略開始以降、ウクライナでは医療機関や救急車などへの攻撃が31件確認されました。これらの攻撃で少なくとも12人が死亡し、34人が負傷しました。

声明は、「赤ん坊や子ども、妊婦、患者、他人の命を救うため自らの命を危険にさらして働く医療従事者への攻撃は「良心に照らし

て受け入れ難い残虐行為」と厳しく非難しました。「国際人道法や国際人権法を順守しなければならない。民間人保護が最優先だ」と指摘しました。

ロシア軍の侵略開始以降にウクライナでは出産が4300件以上あり、今後3カ月で8万人の女性が出産する予定だといいます。声明は、「医療用品が危険なままで不足し、医療崩壊は大惨禍になる。防ぐためあらゆる努力をせねばならない」と強調しました。

また新型コロナウイルスの感染が続くなでの医療機関への攻撃は、民間人の置かれた状況をさらに悪化させる可能性があると批判しています。

ウクライナ侵略

【サンフランシスコ＝農田謙隆】国連兌換基金（ユニセフ）、世界保健機関（WHO）、国連人口基金（UNFPA）の3機関は13日、ロシアが侵略しているウクライナで医療機関が攻撃されていると批判し、医療機関に対するあらゆる攻撃をやめようとする共同声明を出しました。

国連3機関 共同声明

各地でロシア抗議
停戦交渉前進の期待
G7が対口制裁強化
各団体が抗議声明

④⑦
⑥⑮⑧⑨⑦